

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名 都島区

学 校 名 大東小学校

学校長名 地丸 大介

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大東小学校では、第6学年 54名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科においては、全国の平均正答率より10.7ポイント大阪市の平均正答率より9ポイント下回っている。算数科においては、全国の平均正答率より12.4ポイント大阪市の平均正答率より11ポイント下回っている。

また、国語科における平均無回答率は、対全国比で1ポイント、対大阪市比で1.9ポイント上回っている。算数科における平均無回答率は、対全国比で1.2ポイント、対大阪市比で1.4ポイント上回っている。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

全国の平均正答率より10.7ポイント、大阪市の平均正答率より9ポイント下回っている。領域別に比較すると、どの領域においても大阪市の平均正答率を下回っている。

特に「情報の取り扱い方に関する事項」は、13.8ポイントと差が大きくある。これは、昨年度も課題となっており、情報と情報を比較して整理する力をつける必要がある。

〔算数〕

全国の平均正答率より12.4ポイント大阪市の平均正答率より11ポイント下回っている。領域別に比較すると、どの領域においても大阪市の平均正答率を下回っている。

特に「数と計算」が14.5ポイントと差が大きくある。問題場面の数量関係を捉え式に表すことについて力をつける必要がある。

国語科、算数科ともに、引き続き基礎・基本の定着を図りながら、文章を整理し読む力をつけることが課題と考える。

質問調査より

「朝食を毎日食べていますか」の質問に肯定的に回答する児童は、全国平均より8.8ポイント低く、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の質問に肯定的に回答する児童は、全国平均より10.5ポイント低い。

「国語の勉強は好きですか」の質問に肯定的に回答する児童は、全国平均より7.3ポイント低く、「算数の勉強は好きですか」の質問に肯定的に回答する児童は、全国平均より21.3ポイント低い。学習に対して苦手意識がある児童が多い。

児童が、興味関心を持てる教科を増やすことができる授業づくりに努める必要がある。

「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問に肯定的に回答する児童が全国平均より4.5ポイント高い。教職員が児童観察とその情報共有を組織的に進めてきた成果であると考え。加えて、学校支援事業を活用し、学びサポーターを配置することで、個別の支援などの対応ができています。さらに、児童一人ひとりのつまづきやすいポイントを把握して、指導を工夫していきたい。

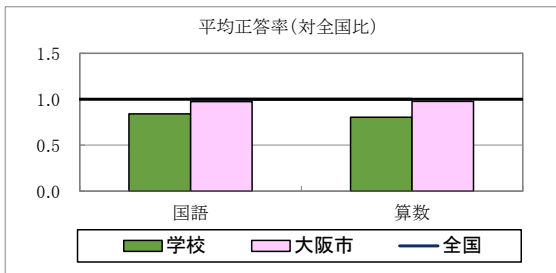
今後の取組(アクションプラン)

- ・日課としている「読書タイム」「スキルタイム」等、朝の学習で基礎学力の向上を推進し、年度末に取り組みを振り返り次年度へ向けて充実させる。
- ・ブロック化による学校支援事業を活用し、デジタル新聞を読む活動を取り入れている。教科書以外でも言葉や文章にふれる機会を多く持ち、意味や意図を迅速かつ正確に読み取る力を身につけさせたい。
- ・教科研究に優れた講師の招聘を行い教員の授業力の向上に努め、スクールアドバイザーと連携し若手教員の研修を充実させる。
- ・生活習慣について改善する必要があるとあり、児童が安定して学習に向かえるよう、家庭への啓発を継続していく。

【 全体の概要 】

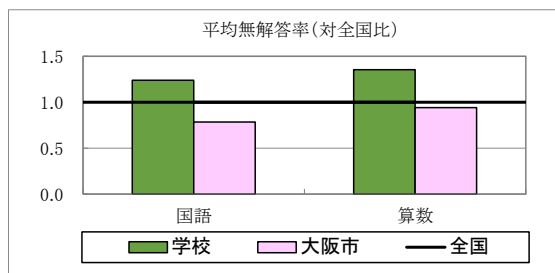
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	57	51
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	5.2	4.6
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



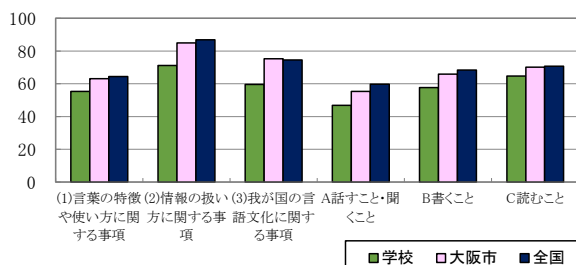
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	55.3	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	71.2	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	59.6	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	46.8	55.3	59.8
B 書くこと	2	57.7	65.9	68.4
C 読むこと	3	64.7	70.1	70.7

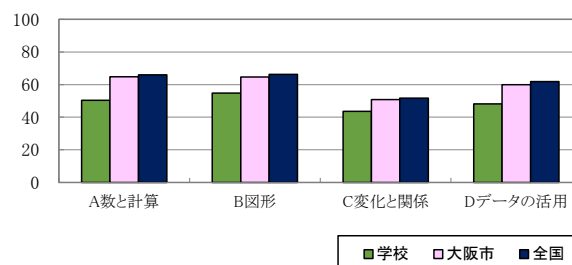
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	50.3	64.8	66.0
B 図形	4	54.8	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	43.6	50.8	51.7
D データの活用	4	48.1	60.0	61.8

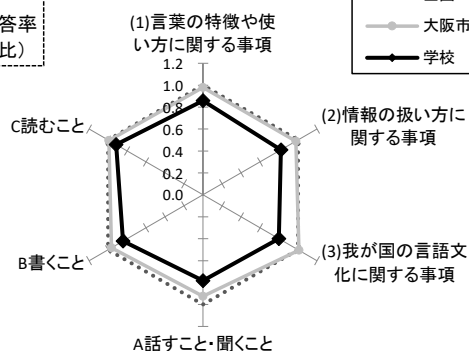
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



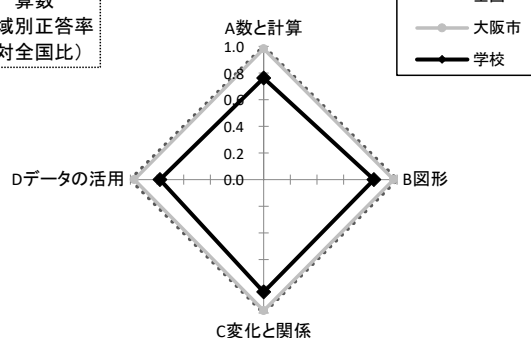
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)



算数
領域別正答率
(対全国比)



児童質問より

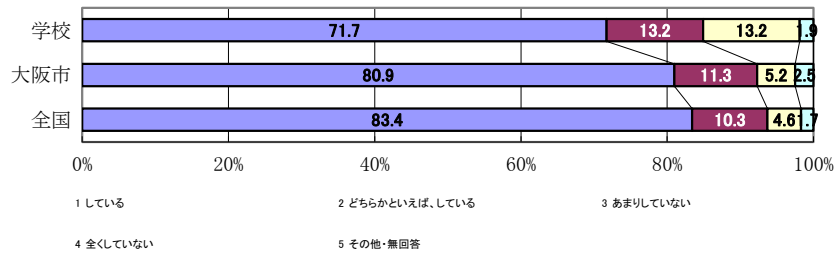
質問番号

質問事項

1

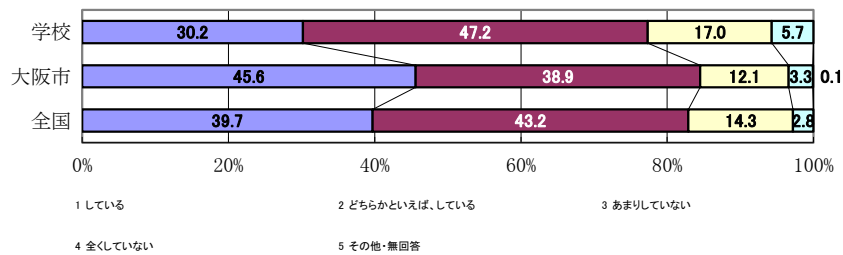
朝食を毎日食べていますか

1 2 3 4 5 6 7 8



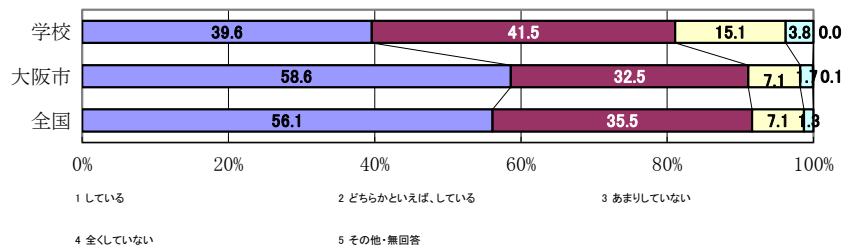
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



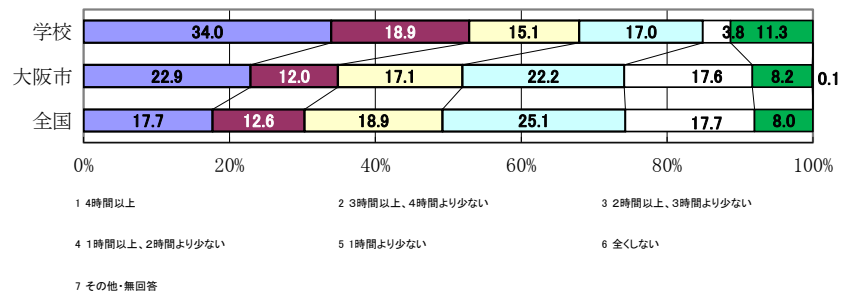
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



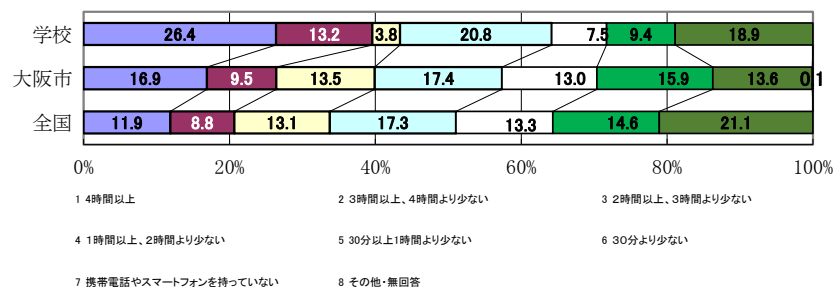
5

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



6

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)



児童質問より

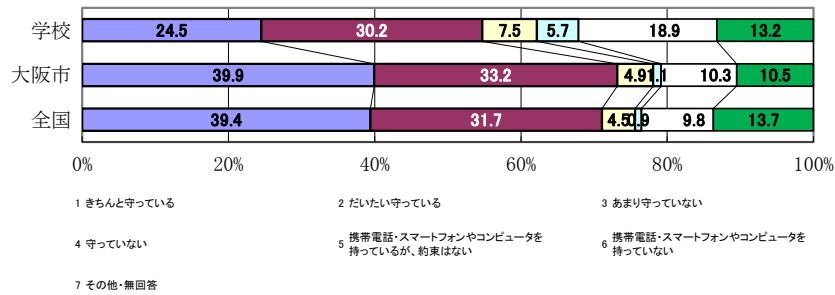
質問番号

質問事項

7

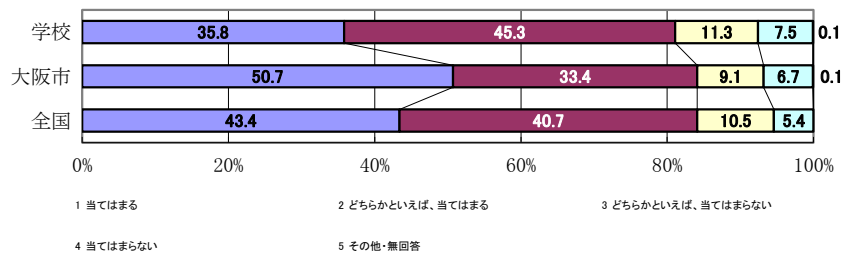
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

1 2 3 4 5 6 7 8



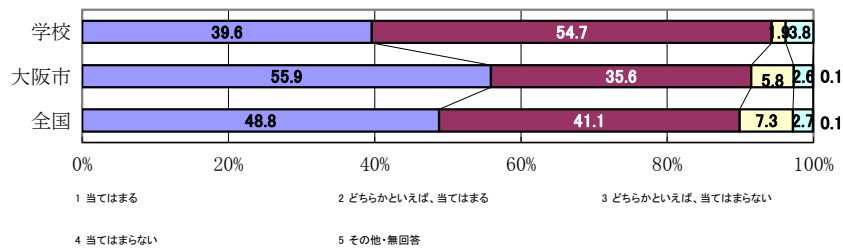
9

自分には、よいところがあると思いますか



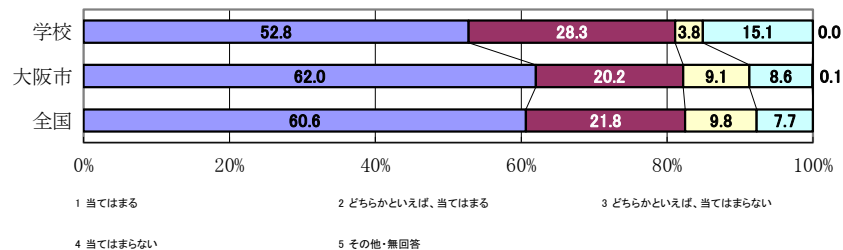
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



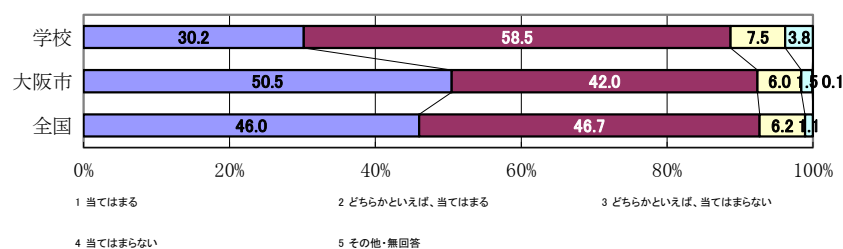
11

将来の夢や目標を持っていますか



12

人が困っているときは、進んで助けていますか



児童質問より

質問番号

質問事項

13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

1

2

3

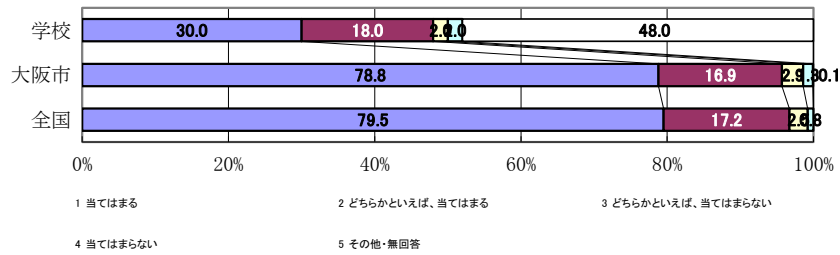
4

5

6

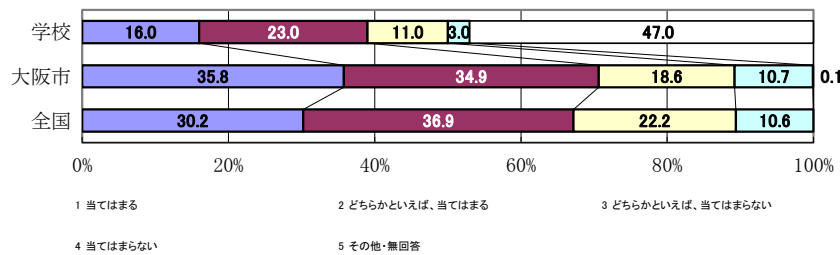
7

8



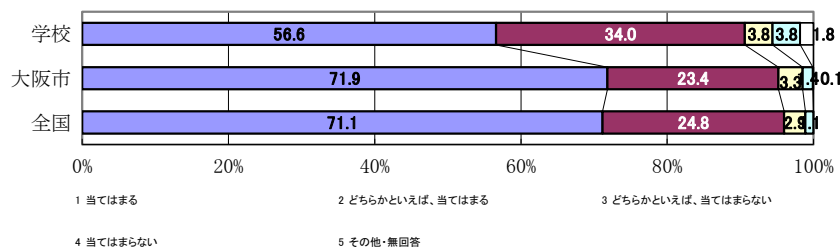
14

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。



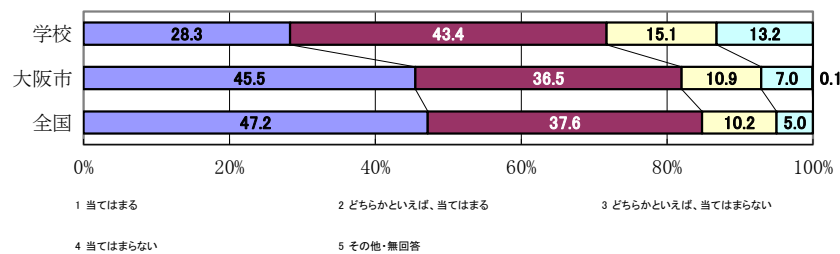
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



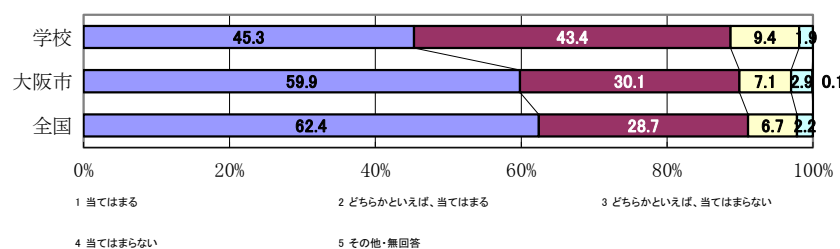
16

学校に行くのは楽しいと思いますか。



18

友達関係に満足していますか。



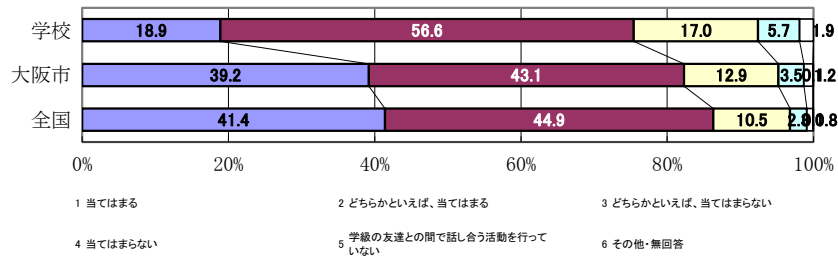
児童質問より

質問番号

質問事項

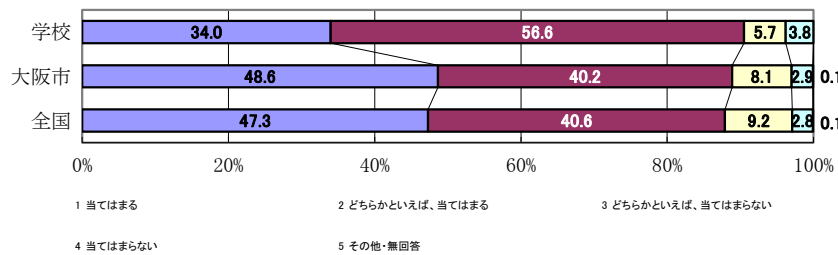
33

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



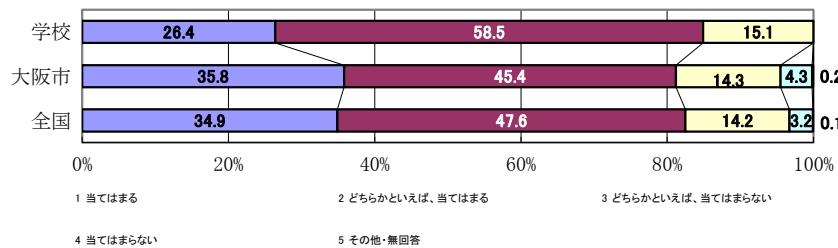
36

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



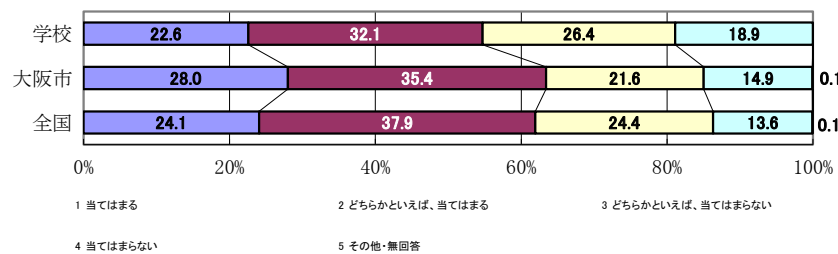
40

学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか



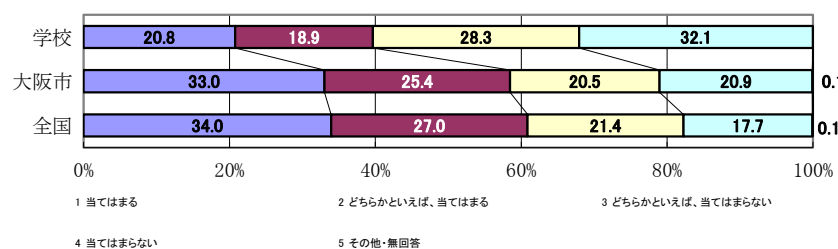
42

国語の勉強は好きですか



50

算数の勉強は好きですか



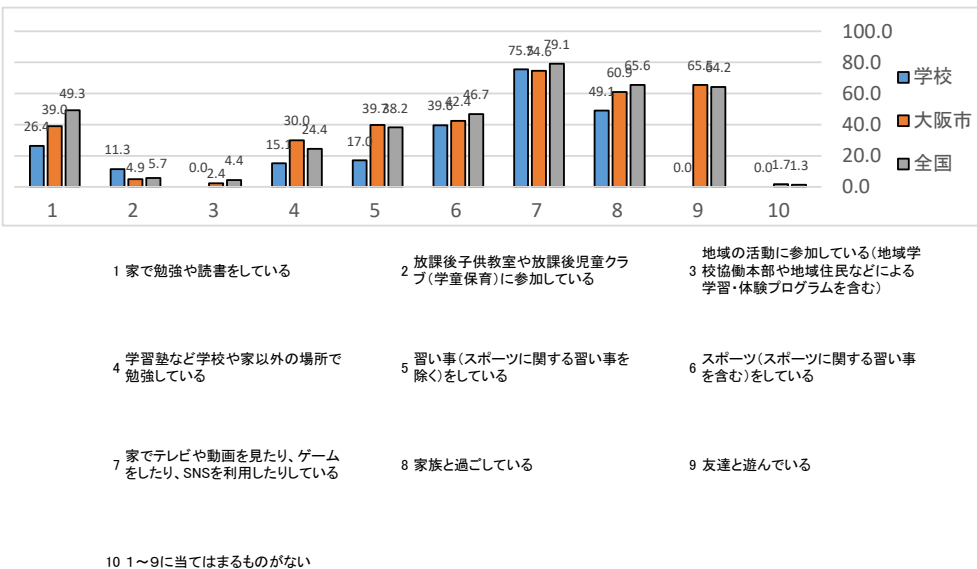
児童質問より(26)

質問番号

質問事項

26

放課後や週末に何をして
過ごすことが多いですか
(複数選択)



学校質問より

質問番号

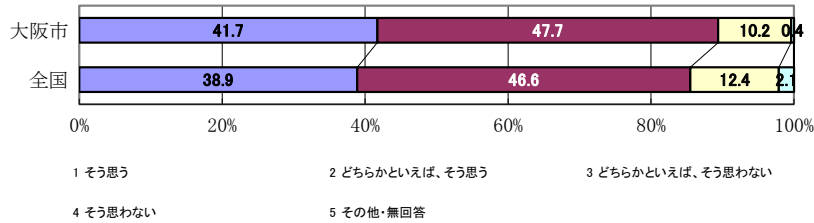
質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

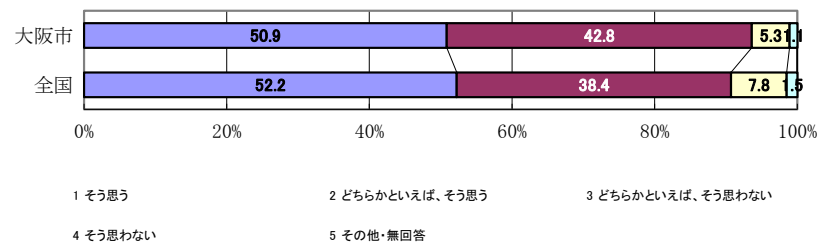
学校 「どちらかといえば、そう思わない」を選択



8

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか

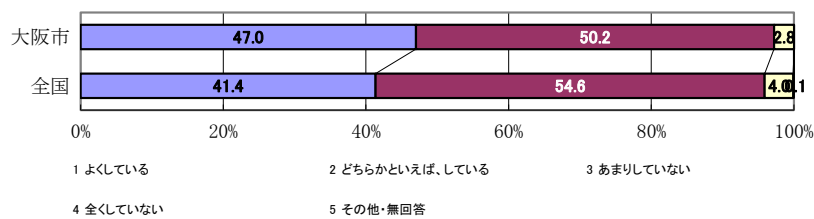
学校 「そう思う」を選択



15

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

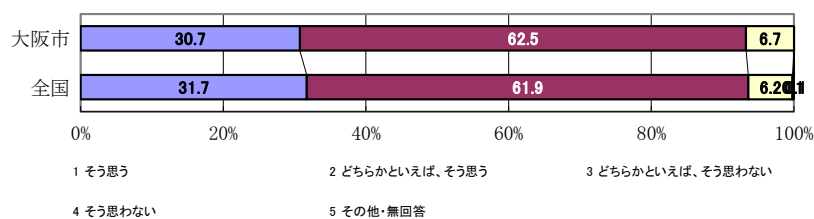
学校 「よくしている」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



18

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

学校 「よくしている」を選択

